

## 2022 年度 保育士資格取得のための特例講座【シラバス】

本学開講科目名：福祉と養護 単位数：2 単位

担当者名：高橋 圭三

講義日程：8月24日（水）、8月25日（木）、8月26日（金）（1～5 時限×3 日間）

講義内容：

少子社会にあつて子どもに関わる福祉専門職は子どもの健全発達支援とともに、子どもの保護者等家庭への相談支援等の役割を担う。専門職として必要とされる知識（社会福祉・子ども家庭福祉の概要と現在の子ども家庭福祉制度等）と、子どもを取り巻く現代社会の状況、社会全体での子育て支援を展望する上での問題点、そして地域社会の課題と可能性について学ぶ。

8月24日（水）「社会福祉・子ども家庭福祉の概要」

- 第1回 社会福祉の理念と概念、子どもと家庭を取り巻く現状
- 第2回 子ども家庭福祉の歴史の変遷（イギリス、アメリカ、日本など）
- 第3回 社会福祉分野としての子ども家庭福祉
- 第4回 子ども家庭福祉分野としての子育て家庭支援・社会的養護
- 第5回 子どもの権利と権利擁護

8月25日（木）「社会福祉・子ども家庭福祉の取り組み」

- 第6回 社会福祉の法体系と行政機関
- 第7回 子ども家庭福祉の制度と法体系
- 第8回 社会福祉、子ども家庭福祉の施設と専門職
- 第9回 社会的養護の実施体制と仕組み
- 第10回 措置制度と利用契約制度

8月26日（金）「社会的養護」

- 第11回 母子保健、子どもの健全育成
- 第12回 子ども虐待、DV（ドメスティックバイオレンス）
- 第13回 障害のある子どもへの対応
- 第14回 少年非行、子どもの貧困対策
- 第15回 外国籍の子どもへの支援、施設養護の実際

【授業終了時の到達目標】

社会福祉及び子ども家庭福祉、権利擁護の視点などについて理解でき、ひとりひとりの子ども、子育て家庭への支援を行う際の福祉専門職の役割とその遂行について具体的に考えることができるようになる。

成績評価方法：振り返り小テストとまとめテスト

テキスト：保育士資格取得特例教科目テキストシリーズ『福祉と養護（第3版）』『福祉と養護』編集委員会編 株式会社みらい（松山東雲女子大学生協にて購入可 1,870円（税込み））プリント配付、グループワークなど含む

本学開講科目名：子ども家庭支援論 単位数：2単位

担当者名：高橋 圭三、岡田 恵

講義日程：8月29日（月）、8月30日（火）、8月31日（水）（1～5時限×3日間）

講義内容：

8月29日（月）（高橋）

- 第1回 家庭の意義と機能及び家庭支援の必要性、保育士等が行う家庭支援の原理
- 第2回 子育て家庭の福祉を図るための社会原理
- 第3回 子育て支援サービスの概要と保育所入所児童の家庭への支援
- 第4回 地域の子育て家庭に対する支援と関係機関との連携
- 第5回 要保護児童及びその家庭に対する支援と関係機関との連携

8月30日（火）（岡田）

- 第6回 保護者に対する保育相談支援の意義
- 第7回 保育の特性と保育士の専門性を生かした支援
- 第8回 保護者の養育力の向上に資する支援、受容的関わり、自己決定、秘密保持の尊重
- 第9回 保護者に対する指導及び支援の内容
- 第10回 保護者支援の方法と技術

8月31日（水）（岡田）

- 第11回 保護者支援の計画、記録、評価、カンファレンス
- 第12回 保育所における保育相談支援及び特別な対応を要する家庭支援の実際
- 第13回 児童養護施設等要保護児童の家庭に対する支援
- 第14回 障害児施設、母子生活支援施設等における保育相談支援
- 第15回 総括

**【授業終了時の到達目標】**

保育士として児童の保育や養護の場面で個別的ニーズを的確に把握し、その充足のために適切な個別援助技術を活用できる。その支援場面で利用者の最善の利益を計り、人格と徳性を最大限に尊重できる。

成績評価方法：レポート100%

テキスト：使用しない。プリントを随時配付

本学開講科目名：乳児保育 単位数：2単位

担当者名：影浦 紀子、相澤 みゆき

講義日程：9月1日（木）、9月2日（金）、9月5日（月） （1～5時限×3日間）

講義内容：

9月1日（木）（影浦）

- 第1回 乳児保育の理念と歴史の変遷
- 第2回 乳児保育の役割と機能
- 第3回 保育所における乳児保育
- 第4回 乳児院における乳児保育
- 第5回 わらべうた遊び・乳児と絵本 絵本の読み聞かせ（演習）

9月2日（金）（相澤）

- 第6回 3歳未満児の発達と保育
- 第7回 3歳未満児の生活と環境
- 第8回 3歳未満児の基本的な生活習慣における援助や関わり（演習）
- 第9回 3歳未満児の遊びと環境（演習）
- 第10回 3歳未満児の発達・発育を踏まえた保育士等による援助や関わり（演習）

9月5日（月）（相澤）

- 第11回 3歳未満児の発達・発育を踏まえた保育における配慮
- 第12回 個々の発達を促す生活と遊びの環境（演習）
- 第13回 全体的な計画に基づく指導計画の作成と観察・記録及び自己評価（演習）
- 第14回 3歳未満児保育における連携と協働
- 第15回 自治体や地域の関係機関等との連携・協働

【授業終了時の到達目標】

- ・ 乳児期の発達の特性及び乳児の発達過程と援助の仕方を理解する。
- ・ 保護者の思いに気づき、理解する。保育士の役割を理解する。

成績評価方法：レポート 70点、授業内課題（参加意欲含む）30点

テキスト・持ち物：保育所保育指針解説（平成30年3月）

（松山東雲女子大学生協にて購入可 352円（税込み））

本学開講科目名：保健と食と栄養 単位数：2単位

担当者名：栗原 和也、仲野 由香利

講義日程：9月6日（火）、9月7日（水）、9月8日（木） （1～5時限×3日間）

講義内容：

本科目では、幼稚園等の勤務経験により、幼児の感染症や疾病等の対応及び食事に関する一定の知識を習得していることを考慮し、「子どもの疾病と保育」「安全管理」及び「食育の基本と内容」等についての内容を中心とする。

9月6日（火）（栗原）

- 第1回 子どもの健康と食生活の意義・子どもの発育・発達と食生活
- 第2回 栄養の基本的概念と栄養素の種類と機能
- 第3回 献立作成・調理の基本と食事摂取基準
- 第4回 妊娠期（胎児期）の食生活
- 第5回 乳児期の授乳・離乳の意義と食生活①

9月7日（水）（栗原）

- 第6回 乳児期の授乳・離乳の意義と食生活②
- 第7回 幼児期の心身の発達と食生活
- 第8回 家庭や児童福祉施設における食と栄養
- 第9回 食育の基本と内容
- 第10回 特別な配慮を要する子どもの食と栄養

9月8日（木）（仲野）

- 第11回 子どもの健康状態の把握と主な疾病の予防と適切な対応
- 第12回 感染症対策
- 第13回 保育的観点を踏まえた保育環境の整備及び衛生管理
- 第14回 保育現場における事故防止及び安全対策
- 第15回 健康及び安全管理の実施体制

成績評価方法：レポート、授業への取組状況

テキスト：使用しない。資料を適宜配付